

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 272

政策体系	11	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 2. 児童福 - 1. 児童福 現年		
事業名	入学祝金支給事業				
細事業名	入学祝金支給事業				
評価表作成者				市民福祉部 子育て支援課	國府 智子

1. 事業の概要

南丹市に居住されている児童が小・中学校に入学をされた場合に、保護者に小学校は3万円、中学校は4万円の入学祝金を支給する事業。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

出生率が低下する中で、安心して子どもを生み育てることを支援する事業。
出生率の引き上げを目指す。

②事業を実施する必要性

安心して子育てができるように子育て世代への経済的支援が必要とされている。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	29,100	27,350	21,770	19,510	21,380	20,950	20,950
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	29,100	27,350	21,770	19,510	21,380	20,950	20,950
職員等の従事人員		人/年	—	0.15	0.25	0.10			
人件費		千円	—	1,107	1,437	513			
事業費総額		千円	—	28,457	23,207	20,023			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

扶助費 入学祝金 19,510,000円

5. 事業結果の概要

支給対象児童 計551人
小学校入学 253人、中学校入学 298人

6. 活動の詳細

1 申請受理、審査・認定、通知		
(1) 受給申請書等受理 (2) 審査 (3) 受給資格認定通知書	申請期間：4月～6月	支給対象児童 小学校入学 253人 中学校入学 298人 計 551人
2 支給		
入学祝金支給	一ヶ月申請分、翌月月末頃支払い	支給額19,510,000円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

南丹市の独自施策として展開してきた事業であるが、国の新しい子育て支援への制度の充実が開始をされる中で、平成21年度に支給要件、支給金額の見直しを実施した。事業の直接的な成果の把握は難しいが、子育て手当や子宝祝金とも連動し、妊娠、出産や子育て世代の転入のインセンティブにはなっていると考えられる。今後も子育て支援条例に基づき、少子化対策に必要な支援事業として、継続していく方向である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

南丹市の独自施策として展開してきた事業であるが、国の新しい子育て支援への制度の充実が開始をされる中で、入学祝金事業については、支給要件は拡充したものの、支給金額については見直しを実施したところである。今後も子育て支援条例に基づき、少子化対策に必要な支援事業として、現物支給等への協議も進めながら、継続していく方向であり、祝金事業だけでなく、総合的な子育て支援、また少子化対策事業の充実、推進を図っていく必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
事業の内容について、南丹市子育て支援条例と併せて検討を行った。
- ②当該事業のアピール事項
子育て世代を経済的に支援する取り組みを進めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
制度の内容について国等の施策を踏まえて検討を進める。